

管理事務所からのお知らせ

昨年は、10月は気温が高く雨も少なく比較的きれいな紅葉となりました。11月に入ってから気温は高めで、例年より10日以上遅い27日に初雪がありました。12月に入り、上旬に3日ほど雪の日がありましたが、気温は比較的高く、すぐに解けてしまいました。その後も、中旬以降は雪が降り冬らしい日もありましたが、12月の降雪量としては極端に少ない年末となりました。これから積雪の最も多い時期となります。ご来荘の際の車の運転には十分ご注意ください。

❖冬期間の別荘ご利用について❖

・入荘前のご連絡を

冬の間、ご入荘の際には前もってご連絡をいただき、道路状況等をご確認ください。ご連絡をいただきませんと、天候状況によっては、除雪が間に合わない場合があります。

・早めのご入荘を

夜間は路面凍結や、思わぬ積雪のため滑りやすく非常に危険です。また、水道のトラブル等も心配されますので早めの入荘をお願いいたします。(月～木曜日の夜間、管理事務所は留守になります)

・凍結等のトラブルについて

入荘中、水道の凍結等のトラブルが発生した場合は、速やかに管理事務所にご相談下さい。時間が経ってしまいますと、器具・配管等の破損につながる場合がありますのでご注意ください。

・水抜きについて

退荘の際の水抜きは確実に実施してください。なお、4月中旬頃までは凍結の恐れがありますので、水抜きをされますようお願いいたします。

白笹何でも

Q & A



Q ある不動産業者より、白笹の別荘地を売りたいお客様がいるので売ってほしいと連絡があり、売却を考えました。ところが、売買契約に先立って、すぐに現地の測量が必要で、費用を前払いするよう案内が来ました。信用してよいものでしょうか？

A 全く信用できないと思います。区画の境界はすべてコンクリート杭が入っており、分筆登記の際の測量図・求積表の写しも管理事務所に保管してありますので測量の必要はありません。もし、測量をしまして売買が不成立になっても、費用は戻ってきません。このような業者の勧誘には十分ご注意ください。

編集室より

新年あけましておめでとうございます。皆様にとりまして今年がより良い年になりますよう心よりお祈りいたします。

さて、今年の干支(申)ですが、誰でも知っていることわざ「猿も木から落ちる」(木登りに長けた猿であっても、時には木から落ちることから、達人と呼ばれるような者であっても、失敗することがあるという意味)があります。我々にも馴染み深い猿は、他にも故事・ことわざに多数登場しています。そんな猿が人や作物に被害を及ぼす事件が増加中とよく耳にします。頭が賢いところが裏目に出てしまい困ったものです。人も度が過ぎると大変なことに陥ります。昨年は、これまで空気のように感じていた平和や生活というものを、改めてじっくりと見直し、一人ひとりがどうすべきであるかということを考えさせられた年のように思われます。今年はあなたにとって、どんな年になるのでしょうか。本年もどうぞよろしくお願い致します。

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)



白笹だより

No.139

2016.1



～ウサギ 追いし 彼の山～

年々温暖化の影響で雪が降る回数も減り、散歩していても、子供たちの作った「雪だるま」を見かけることが少なく、写真のような「うさぎ」がやっと出来るという積雪量。とは言っても「白笹」はまだまだ雪深いです。

「うさぎ」と聞いて頭に浮かぶのは、誰でも一度は口ずさんだことのある「うさぎ おいし かの山 こぶな つりし かの川」…高野辰之が作詞した唱歌、「故郷(ふるさと)」ですね。「野うさぎを追いかけて駆け回った故郷のあの山、小さい鮒を釣ったあの川」という意味で、誰しも「ふるさとの風景を思い出す」秀作です。しかし幼少時代はその意味が分からず「ウサギはおいしい」と勘違いしたまま育ちました(笑)。日本語は難しいですね。

二番はもっとわかりづらいので、ついでにちょっと紹介します。

如何にいます父母…どうしていますか、お父さん、お母さん。
恙無しや友がき…何事もなく暮らしているんだろうか、友達は。
雨に風につけても…雨が降るのを見ても、風が吹くの聞いても、
思い出づる故郷…思い出されるのは故郷のことだ。



白笹掲示板

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

オーナーの皆様におかれましては、輝かしき新春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年3月に就任し、那須白笹の四季折々の表情に魅了され1年を過ごす事ができました。オーナーの皆様がこの自然あふれる那須白笹での別荘ライフをご満喫していただけますよう、我々社員一同お手伝いをしたいと存じます。ご来荘の際は、是非、管理事務所にも気軽にお立ち寄りください。

本年も変わらぬご理解ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

末筆ではございますが、オーナーの皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成28年 元旦

黒磯観光開発株式会社 代表取締役 荒井 藤吾



エンジョイしています。別荘ライフ

今回は、東京都大田区在住の多田様に登場していただきました。

25年前に建てたこのログハウスには、3年前他界した義母との思い出がいっぱい詰まっている。東京生まれ東京育ちの母は小さい頃から田舎が欲しいと言っていたらしい。だからこの那須の地は母の第二のふるさとである。そんな母は、自然が好きで那須を訪れる度、那珂川や南ヶ丘牧場に行って楽しんでた。朝は誰よりも早くに起き、時には野路を、時にはどんぐりや栗を袋いっぱい拾っては散歩から戻ってきたものだった。晩年、足を悪くして、歩行に支障を来すようになって、「那須に来ると不思議に歩けるよ」そしてお風呂に入れば「那須のお風呂は、出てからも体がポカポカする」と、那須白笹様様だったのである。

子供が小さい頃は年に数回訪れていたが、子供が各々の都合で行くことが出来なくなると、「孫が行かないなら私も行かない」と言うようになり、そうこうしているうちに母も病気がちになり、歩くこともままならなくなってしまったのだ。だから私達もまったく白笹を訪れない年もあったほどだった。それでももう一度、この地に連れて来てあげたいという思いから、室内に介護用の手すりを付けたりもしたのだが、その夢は叶うことなく旅立ってしまった。今でも、この部屋のここに座ってテレビを見ていたり、居眠りをしていたなあと背中を丸めた母の姿を思い出す。

25年前お腹にいた2人目の子供（写真中央）も今ではすっかり大人になり、主人と一緒に薪を割ったり下草を刈ったりしてくれる。彼の将来の夢は、ログハウス建築当時に父がログ材を使って作製した手作りベンチが何年か前に朽ちてしまったので、これを復活させることである。

いつか子供達にも家庭ができ、私たちに孫ができ、年老いて訪れることが出来なくなっても、この地は家族みんなの思い出の場所になるのだろう。

このログハウスは主人が私たち家族に贈ってくれた最高の宝箱なのである。



多田さんご夫妻と息子さん

那須で見られる山野草④ 土筆（ツクシ）

土筆は、3月から4月頃、あき地できるとき見かける草花で、北海道から九州に分布するトクサ科トクサ属の多年草。スギナの胞子茎で早春に芽を出します。「土筆」の名の由来は諸説ありますが、「澤標（みおつくし）」（船が港へ入る通路を示した杭）の「つくし」で、突き立った杭のように見えることからとか、「突く突くし（“突き伸びる”）」が由来とも。漢字の「土筆」は、土に刺した筆のような姿から充てられたとされています。つくしに花言葉であるのか本で調べてみましたがありません。「向上心」「努力」。春にによきによき出て来る「つくし」の姿から良く分かりますね。土筆はB-カロテンやビタミンCを含む立派な春野菜。ふきのとう、たらふきの芽、こごみ等と天ぷらやおひたしにすると、春の香りがしてとても美味しいです。



とっておきのお店 お教えします

Cafe Roimu カフェロイム

栃木県那須塩原市大原間西1-13-13 LA Vita 1F

電話 & FAX : 0287-74-3015

<http://www.cafe-roimu.com/>

定休日：毎週木曜日（年始2日AM11:00から営業）

営業時間：AM10:00～PM6:30



那須に素敵なcafeがオープンしました。今回紹介するCafe Roimu “カフェロイム”は、那須塩原駅から徒歩5分のところにあるマンションの1階にあります。

ガラスの扉より中へ入ると、白を基調にしたおしゃれな色彩に癒され、思わず深呼吸したくなってしまう。

ここのオーナーは、なんとあの那須の「珈琲工房」の一番弟子とのこと！（珈琲工房の鈴木さんは日本の珈琲業界ではかなりの人で自家焙煎の珈琲は全国に多くのファンがいます。私も何度か珈琲工房さんに出かけてはコーヒーの香りに包まれて至福の時を過ごしてきました）。というわけで、ティー関係はかなりのお勧め。そしてなんとティーポットが「南部鉄瓶」…思わずこれにはびっくりしました！それがまたかわいいんです。とくに女子には大うけだと思います。鉄瓶から注がれるティー…みなさん美味しさが想像できますよね。

カフェロイムのコンセプトは「心豊かな時間を感じられる場所」。その言葉どおり、店内はカフェロイムの虜となったリピーターも多いとのこと。

どのメニューも材料がよく吟味され、なおかつ調和がとれ、食するのがもったいないほどオシャレ。ひとつずつ紹介していると紙面が足りないのでピックアップしました。

〔アルガス風しっとりチーズケーキ〕

これは、メレンゲの泡の布団のような、レモンパイの上の部分のような、がっつりチーズの味というのではなく、とにかくこの上に寝たくなるようなしっとりフワっですう〜♪軽くて超おいしい♪

〔まるごとりんごのチーズケーキ〕

オーナーの実家で低農薬で育てているりんごを丸ごと使い、芯をくり抜いたところにチーズケーキが入り、オープンで焼いてあります♪（季節限定）

寒い日が続いています。温かいお茶を飲みながらリラックスできる“カフェロイム”に一度出かけてみては…ほっこり気分が味わえます。

